

柏崎刈羽原子力発電所6号及び7号炉 指摘事項に対する回答一覧表  
(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)

No.	審査日	指摘事項	回答			
			回答状況	回答日	回答資料	回答
1	2016/9/13	緊急時対策所の機能(気密性、建屋内アクセスルート等)を整理した上で、機能が維持されることを説明すること。	一部 本日説明	H28.12.15  一部 次回会合 (屋内アクセスルート)	資料1-3	<ul style="list-style-type: none"> <li>高気密室を除く対策本部関連設備の耐震性については12/15会合にて説明済</li> <li>高気密室については、要求機能を整理した上で、「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1987」及び「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1991追補版」に基づき、機器・配管系としての耐震設計を実施し、要求機能を確保する旨を記載した(61-9-4-14.61-9-5-105)</li> <li>現場要員待機場所、屋内アクセスルートについては12/15会合指摘事項を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する</li> </ul>
2	2016/12/15	大湊側緊対所の竣工時期を本文に記載すること。	本日説明		資料1-2	大湊側緊対所の竣工時期(平成30年7月竣工予定)を記載した(3.18-2)
3	2016/12/15	高気密室の耐震性の確認はどのように実施しているのか説明すること。	本日説明		資料1-3	高気密室については、要求機能を整理した上で、「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1987」及び「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1991追補版」に基づき、機器・配管系としての耐震設計を実施し、要求機能を確保する旨を記載した(61-9-4-14.61-9-5-105)
4	2016/12/15	5号緊対所待機所について、適切に放射線防護ができることを説明すること。	準備中	次回会合		現場要員待機場所については12/15会合指摘事項を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する
5	2016/12/15	可搬型陽圧化空調機がSs機能維持することを説明すること。	本日説明		資料1-3	可搬型陽圧化空調機のSs機能維持にかかる12/15会合資料の記載を充実させた(61-9-4-13)
6	2016/12/15	待機場所用の可搬型陽圧化空調機の保管場所を示すこと。	準備中	次回会合		現場要員待機場所については12/15会合指摘事項を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する
7	2016/12/15	可搬型陽圧化空調機は、使用機器と予備機を同じ場所に保管しないこと。	一部 本日説明	一部 次回会合	資料1-3	<ul style="list-style-type: none"> <li>対策本部の可搬型陽圧化空調機の保管場所について予備機を分散する旨を記載した(61-9-2-57)</li> <li>現場要員待機場所の可搬型陽圧化空調機については12/15会合指摘事項を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する</li> </ul>
8	2016/12/15	平日昼間において、事故時に指揮にあたる職員が必ず確保されていることを説明すること。	本日説明		資料1-3	指揮にあたる職員(代行者含む)の少なくとも1名が直ちに指揮をとれる状態にあることを記載した(61-9-3-18)
9	2016/12/15	対策本部での空気ポンプ陽圧化装置から可搬型陽圧化装置への切替による陽圧化の手順も追記すること。また、待機場所での可搬型陽圧化装置による陽圧化の手順の記載をすること。	一部 本日説明	一部 次回会合	資料1-3	<ul style="list-style-type: none"> <li>対策本部の空気ポンプ陽圧化装置から可搬型陽圧化装置への切替手順を追記した(61-9-3-35)</li> <li>現場要員待機場所の陽圧化手順については12/15会合コメントを踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する</li> </ul>
10	2016/12/15	自主整備防火帯を自主とする理由と、新たに追加したアクセスルートにクレジットをとる理由を詳細に説明すること。	準備中	アクセスルート会合		アクセスルートに関する指摘事項であるため、アクセスルートの会合にて回答する
11	2016/12/15	新たに追加したアクセスルートが浸水しないことを説明すること。	準備中	アクセスルート会合		アクセスルートに関する指摘事項であるため、アクセスルートの会合にて回答する

No.	審査日	指摘事項	回答			
12	2016/12/15	緊対所近傍に残る職員と緊対所を立ち上げる要員の考えについて説明すること。	本日説明		資料1-3	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所立ち上げ時の要員配分の考え方について記載した(61-9-3-29)
13	2016/12/15	5号緊対所へのアクセスルートは複数箇所設定すること。	準備中	次回会合		5号炉原子炉建屋内緊急時対策所への屋内アクセスルートについては12/15会合指摘事項を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する
14	2016/12/15	緊対所電源を可搬型電源としている理由、可搬設備は12時間使えないとするこれまでの説明との整合性、台数の考え方について説明すること。	本日説明		資料1-3	可搬型電源の考え方について記載した(61-9-2-25,32)
15	2016/12/15	チェンジングエリアは3号緊対所と同等以上のものとする。	準備中	次回会合		チェンジングエリアについては、12/15会合指摘事項(屋内アクセスルート、現場要員待機場所)を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する
16	2016/12/15	5号緊対所の対策本部に留まる要員を示し、その居住性を説明すること。	本日説明		資料1-3	対策本部に留まる要員を明確にし、空調設計の説明に反映した(61-9-3-16,61-9-2-58,65)
17	2016/12/15	ブルーム通過後、必要に応じて一時退避した要員が緊対所待機場所へ戻るが、その要員の被ばく評価等を説明すること。	準備中	次回会合		現場要員待機場所については12/15会合指摘事項を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する
18	2016/12/15	陽圧化開始が遅延することによる影響を2分としているが、2分の根拠を説明すること。	本日説明		資料1-3	モックアップによる検証結果である旨を記載した(61-9-3-34)
19	2016/12/15	空気ポンプ陽圧化装置から可搬型陽圧化装置への切り替えについて、切り替え遅れによる影響を説明すること。	準備中	次回会合		建屋内空気の入替わりについては12/15会合指摘事項を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する
20	2016/12/15	遮蔽モデルの保守性や誤差等を先行の審査を踏まえ説明すること。	本日説明		資料1-3	遮蔽モデルの保守性・誤差等の考え方について記載した(61-10-2-48,50,57,84)
21	2016/12/15	5号緊対所の被ばくについては、DSピットやSFPの水が抜けた場合で説明すること。	一部 本日説明	一部 次回会合	資料1-3	・対策本部について、DSピットとSFPの影響を記載した(61-10-2-76) ・現場要員待機場所については12/15会合指摘事項を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する
22	2016/12/15	補助壁の機能要求の考え方について説明すること。(支持性能、遮蔽性能等)	一部 本日説明	一部 次回会合	資料1-3	・対策本部(高気密室)に係る、建屋躯体への機能要求の考え方を記載した(61-9-5-105) ・建物・構築物の耐震設計の説明資料については、12/15会合指摘事項(現場要員待機場所)を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する
23	2016/12/15	鋼製の高気密室については許容限界等を含めて機能維持及び施設区分に対応した設計方針を説明すること。	本日説明		資料1-3	高気密室については、要求機能を整理した上で、「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1987」及び「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1991追補版」に基づき、機器・配管系としての耐震設計を実施し、要求機能を確保する旨を記載した(61-9-5-105)
24	2016/12/15	高気密室の耐震性について、耐震壁の歪み等をもとに基準地震動に対して評価基準値を満足することを確認したとしているが、事実即した記載に改めること。	本日説明		資料1-3	・高気密室の耐震性評価基準について記載の修正を実施した ・高気密室が設置される原子炉建屋の躯体についても、要求機能を整理した上で、「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1987」及び「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1991追補版」に基づき、建物・構築物としての耐震設計を実施し、要求機能を確保する旨を記載した(61-9-5-105)
25	2016/12/15	待機所について、緊急時対策所の対象物として耐震性を持たせる設計であること、及び可搬型の陽圧化装置で陽圧化する場合に躯体で気密性を維持できることを説明すること。(施設側と耐震側の資料の整合性)	準備中	次回会合		現場要員待機場所については12/15会合指摘事項を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する